

## 平成28年度 学校法人白峰学園事業計画

〔横浜女子短期大学〕

### 1. 平成28年度学生入学状況

		入 学 者 数						志 願 者 数										
		本年度		前年度		比較増減		本年度		前年度		比較増減						
推薦 入学	指定校制	98		77		21		98		77		21						
	指定校制B日程	7		10		△3		7		10		△3						
	公募制Ⅰ期	6	120	10	106	△4	14	8	123	10	107	△2	16					
	公募制Ⅱ期	2		4		△2		3		5		△2						
	公募制Ⅲ期	7		3		4		7		3		4						
	公募制Ⅳ期	-		1		△1		-		1		△1						
	公募制Ⅴ期	-		1		△1		-		1		△1						
保育科体験A0入学Ⅰ期		56				57				△1				58		63		△5
保育科体験A0入学Ⅱ期		11				13				△2				13		15		△2
保育科体験A0入学Ⅲ期		14		13		1		16		14		2						
保育科体験A0入学Ⅳ期		-		-		-		-		-		-						
特別選抜入学Ⅰ期		1		-		1		1		-		1						
特別選抜入学Ⅱ期		-		-		-		-		-		-						
特別選抜入学Ⅲ期		-		1		△1		-		1		△1						
特別選抜入学Ⅳ期		-		-		-		-		-		-						
特別選抜入学Ⅴ期		-		2		△2		-		3		△3						
一般入学		1		2		△1		6		7		△1						
計		203		194		9		217		210		7						

### 2. 平成28年度学生数

1 学年	207名	(前年度 197名)	留年生	4名	(休学者3名含む)
2 学年	190名	(前年度 164名)	留年生	6名	(休学者5名含む)
計	397名	(前年度 361名)			

### 3. クラス編成及び職員構成

	A	B	C	D	計	教 職 員 構 成
1 学年	52	54	51	50	207	学長1名 教授7名 准教授5名
2 学年	47	46	49	48	190	講師5名 職員16名 客員教授1名 非常勤講師27名

### 4. 授業及び行事予定

月 日 (曜日)	学年	事 項	
平成28年 4月	1・2	入学式	
	2	オリエンテーション	
	4日(月)	1	オリエンテーション
		2	授業開始
	5日(火)	1	オリエンテーション
6日(水)	1	授業開始	

4月	7日(木)～8日(金)	1	修養会(学内学びのオリエンテーション)・ギデオン聖書贈呈式
	11日(月)	1・2	健康診断
	16日(土)	1・2	新入生歓迎会
5月	9日(月)～20日(金)	1	1日実習
	14日(土)	1・2	美しき躍動練習・補講
	27日(金)	1・2	美しき躍動リハーサル
	28日(土)	1・2	第33回「美しき躍動」 共催：協力会 於：横浜文化体育館 幼稚園・保育園児、保護者等参加
6月	4日(土)	1	「保育士を志す学生の集い」参加 主催：県保育士養成施設協会
	7日(火)	1	施設見学
	6日(月)～24日(金)	2	教育実習(実習指定園に配属・15日間)
7月	6日(水)	1	補講・オリエンテーション
8月	1日(月)	1・2	終業集会
	3日(水)～5日(金)	1・2	定期試験
	6日(土)～ 9月22日(木)	1・2	夏季休業
	23日(火)	2	実習オリエンテーション
	29日(月)・30(火)	1	実習オリエンテーション
9月	1日(木)～17日(土)	2	保育実習Ⅱ・保育実習Ⅲ
	5日(月)～16(金)	1	教育実習(1年次)
	23日(金)	1・2	後期始業集会 オリエンテーション 定期試験結果配付・手続
10月	9月28日(水)～4日(火)	1・2	空き時間・5限目に前期臨時試験
	5日(水)～7日(金)	1 2	秋季特別研修 研修旅行(2泊3日 於：御殿場 東山荘)
11月	12日(土)	1・2	運動会
	15日(火)	1・2	実習報告会・補講
12月	3日(土)	2	「保育の日」
	14日(水)	1・2	附属幼稚園クリスマス会(於：本学講堂)
	17日(土)	1・2 有志	クリスマス子ども会 港南台地区(於：本学)
	22日(木)	1・2	クリスマス集会
12月23日(金)～1月5日(木)		1・2	冬季休業
平成29年 1月	6日(金)	1・2	新年集会
	17日(火)	1・2	保育内容研究発表会(専属実習園々児招待)
	27日(金)	2	補講
2月	3日(金)6日(月) 7日(火)	1・2	定期試験
	8日(水)・9日(木)	1	実習オリエンテーション
	13日(月)～ 3月4日(土)	1	保育実習Ⅰ(保育園)(県内保育所に配属・12日間)
	16日(木)・17日(金)	2	定期試験結果配付・手続
	20日(月)・21日(火)	2	臨時試験(追・再試験)
	27日(月)・28日(火)	2	臨時試験結果配付・手続
	3月	1日(水)	2
7日(火)		2	卒業臨時試験結果配付
13日(月)・14日(火)		1	定期試験結果配付・手続
14日(火)		1・2	卒業式リハーサル

	15日(水)	1・2	卒業式
	16日(木)	2	卒業を祝う会
	17日(金)・21(火)	1	臨時試験
	22日(水)～31日(金)	1	春季休業
	23日(木)	新1	入学生連絡説明会

《実習に関する連絡会議の開催》

- 11月22日(火) 2学年配属の児童福祉施設に対する保育実習連絡懇談会 (学外で開催)  
 11月25日(金) 2学年配属の幼稚園に対する教育実習連絡懇談会 (学外で開催)

《学生募集対策》

- 1) 学生募集要項、大学案内の発行
- 2) 各種進学説明会への担当者派遣
  - イ. 神奈川県私立短期大学協会主催「県内公私立高等学校長と私立短期大学長との教育懇談会」
  - ロ. 神奈川県私立短期大学協会主催「県内公私立高等学校進学担当者との進学懇談会」
  - ハ. 神奈川県私立短期大学協会主催「高校生と父母のための進学相談会」
  - ニ. ㈱さんぽう等企画会社の進学説明会(県内高校会場を含む)
- 3) 受験情報誌等に広告を掲載
- 4) 駅ホーム電飾看板
- 5) オープンキャンパス
 

平成28年	5月14日(土)	第1回オープンキャンパス
	6月19日(日)	第2回オープンキャンパス
	7月10日(日)	第3回オープンキャンパス
	7月18日(月)	授業見学日・入試相談会
	8月27日(土)	第4回オープンキャンパス
	9月25日(日)	第5回オープンキャンパス
	11月20日(日)	入試相談会(入学前教育プログラムを同時開催)
	12月17日(土)	入試相談会・地域クリスマス子ども会への見学参加
平成29年	2月26日(日)	高校1・2年生向けオープンキャンパス
	3月25日(土)	高校1・2年生向けオープンキャンパス

《入学試験》

- |       |           |  |
|-------|-----------|--|
| 平成28年 | 8月6日(土)   | AO入試Ⅰ期 保育科体験型<br>(参加受験した者で出願許可通知を受けた者が後日出願可)               |
|       | 9月11日(日)  | AO入試Ⅱ期 自己アピール型・面談重視型<br>(参加受験した者で出願許可通知を受けた者が後日出願可)        |
|       | 10月16日(日) | AO入試Ⅲ期 保育科体験型<br>(参加受験した者で出願許可通知を受けた者が後日出願可)               |
|       | 11月3日(木)  | 指定校推薦入試<br>公募推薦入試Ⅰ期  |
|       | 11月26日(土) | 指定校推薦入試B日程<br>公募推薦入試Ⅱ期<br>大学・短大卒業予定者入試Ⅰ期・社会人入試Ⅰ期           |
|       | 12月3日(土)  | AO入試Ⅳ期 自己アピール型・面談重視型<br>(参加受験した者で出願許可通知を受けた者が後日出願可)        |
| 平成29年 | 1月22日(日)  | 公募推薦入学試験Ⅲ期<br>大学・短大卒業予定者入試Ⅱ期・社会人入試Ⅱ期<br>(入学前教育プログラムを午後に開催) |
|       | 2月4日(土)   | 一般入試   |

- 2月20日(月) 公募推薦入試Ⅳ期  
 大学・短大卒業予定者入試Ⅲ期・社会人入試Ⅲ期
- 3月 6日(月) 公募推薦入試Ⅴ期  
 大学・短大卒業予定者入試Ⅳ期・社会人入試Ⅳ期
- ※3月6日予定の入試はそれまでの募集状況に応じて実施を判断

5. 横浜女子短期大学保育センター事業

神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市からの補助および横浜女子短期大学負担金による  
 研修・研究事業

6. その他の事業

1) 講演会等、協力会・同窓会との共催による文化事業の開催

2) 体操教室

対象：地域の一般社会人 於：本学体育館

毎週火曜日午前中、年間36回

7. 施設整備

図書館3階空調改修工事 8~9月 工事費 ￥11,000,000

総額費用 ￥11,000,000

・教育課程、教育環境、学生生活支援に関する取り組み

- ① 平成28年度も、基本的に平成23年度以降入学生に対する指定保育士養成施設としての教育課程のもとで教育をおこなう。
- ② 保育者としての実践力を在学中から強化するための教育課程上の工夫として、平成23年度から、2学年の教育課程において、履修条件を満たした全員を、6月には教育実習、9月には保育実習ⅡまたはⅢに配属する方式に変更し、事前、事後の指導内容の斉一性をより高めつつ、より具体的で、詳細な指導を必要とする学生へのよりきめの細かい教育指導の実現を目指している。平成28年度から、保育実習指導、教育実習指導に関して新態勢で教育指導を行うが、従来の実習指導方針を適切に継承・継続する。
- ③ 実習に関しては、実習指導の授業を円滑に実施できるように、実習のための事務的作業との連携態勢の調整を行っている。
- ④ さらに、よりよい保育者養成教育の実現を目的とする取り組みの1つとして、平成24年度以降入学生の教育実習にかんして、2年次教育実習(本実習)に出る前の段階に、具体的には、1年次9月に、10日間の日程を組んで、1年次教育実習(予備実習)を導入しており、平成28年度も、1年次から、保育現場、子ども、保育者について直接学ぶ経験をもつことで、2年間を通じ、保育者をめざすという目的意識、意欲を高揚・維持させるとともに、専門課程の学びの重要性について自ら認識を深化できるようにする。
- ⑤ 教育実習、保育実習に関連して、複数教員が担当する実習指導の責任者、イニシアティブの所在を明示、明確化し、担当チームとしてより円滑、有効に機能する態勢を整え、本学の実習教育の継承を進めるとともに、本学の実習に関するハンドブックとして使用するオール・イン・ワン型の「実習ガイド」をさらに改訂の上、その「実習ガイド」を履修学生及び全教員に配布し、実習教育に関する履修学生の理解促進・深化を図り、全教員についても、おりおりの実習ガイダンスにも参加してもらうなど、実習教育に関する共通理解を徹底させる。さらに、変化のみられる履修学生の特性にも対応した実習教育の実現と併せて、実習参加の条件等、規程面での調整整備を引き続き行う。
- ⑥ 本学に限らず、近年、大学入学者に関しては、保育現場も含めて、社会で仕事に従事するために必要な素養である、社会常識、規範意識、言葉遣い、挨拶等の基本的コミュニケーション、国語力等、専門教育以前の基本が身につけていない、乱れているといったことが問題視され、保育系の大学の学生に関しては、実習の段階から、これらのことが学外でも問題として指摘されることが多くなってきている。こ

の点に関して、本学でも、同様な状況が生じており、このような問題について、入学前教育、日常生活指導、実習指導に限らず、教職員による指導を継続的、逐次的に実施していく。

- ⑦ 入学者の学力等も以前にくらべ多様化し、併せて、心理的脆弱性、コミュニケーション能力や学習意欲の低さが懸念される学生も散見され、本学としても、相談支援、学生生活指導の強化を図ってきている。平成28年度も、相談経験の豊かなカウンセラー（臨床心理士）を心理相談室に配置し、相談にあたらせる。また、高校までの家庭教育、学校教育、世の中の風潮の影響からか、一部学生については、規範意識の低さ、健全な社会生活を営むための基本となる生活習慣が確立できていない（あるいは、複合的な要因により生活習慣に乱れが生じている）学生が目立つようになってきているが、本学の教職員全員は、学生生活全般について学生の規範意識の強化につながるように、更に教育・相談・指導に努める。
- ⑧ 学生生活支援とかかわる問題として、平成25年度より、2学年の参加する研修旅行の内容については、専門職者を目ざす者として、各自の学びを振り返らせ、残り半年の各自の課題を設定させて、学習への取り組みを進めるようにした。そして、1年生については、2学年の研修旅行の日程に合わせ、「秋季特別研修」を実施し、1年次の秋季特別研修の学習内容と2年次の研修旅行の学習内容との連携性を高めるように、つまり、1年次に、本学の学びの意義をしっかりと理解・認識させ、その後の1年間の学びを経て、保育の専門職者を目指すものとしてのさらなる意識深化が図れるような企画となるようにした。平成28年度の研修旅行については、27年度から取り入れた「保育内容研究」のグループ活動と、保育技術のスキルアッププログラムも引き続き予定しており、将来の保育者として体験の幅を広げる工夫をする。また1年次の秋季特別研修についても、より楽しく、能動的に学ぶプログラムの実施を目指す。運動会については、保育実習Ⅰ（施設実習）の配属日程のからみで、2学年全員が参加可能な日程に設定。クリスマス子ども会については、地域貢献事業、学生のボランティア活動としての位置づけを全教職員、全学生がしっかり確認し、港南台地区で開催する（行事予定参照）。
- ⑨ 学生支援・指導強化策として、平成28年度は、専任専従職員数が減少していた学生課の機能を少しでも補強できるように人事的調整を行い、さらに、学務部内のなお一層の連携強化を図っていく。また、教員と学務部との連携を更に高めるようにすることも継続して行い、学生支援・指導態勢の強化を図る。
- ⑩ 物理的な教育環境整備に関しては、財政的な制約を斟酌しつつ、平成27年度より平成28年度に入る段階でコンピュータ教室のリニューアル、椅子、机等の什器のリニューアルを進め、さらに、AV設備リニューアル作業の継続、生活設備周りのリニューアル継続等をおこなう。また、平成26年度、学務の事務処理システムを更新しているが、電子通信・Webシステム等の整備の一環として、平成28年度の段階では、学生・教職員向けのポータルサイトの運用に向けた環境整備のための準備を進める。そして、繋ぎ的な対策として、授業・休講、休校情報等も含めた情報配信方法の改善を進める。

#### ・学生募集事業（28年度における29年度入学生向けの学生募集）

入学状況の説明とも重なるものであるが、平成27年度における学生募集に関しては、28年3月1日現在、入学予定者数（見込）は、203名（前年度入学者194名）と、前年度を上回り、入学定員数の200名も確保された。

地道な教育、学生生活支援等の対応強化を持続し、また、入学者の適性、質の維持を図ることは、タイムラグは生じると思われるが、結果的に、本学の保育者養成校としての「ブランドイメージ」の維持高揚につながり、入学者数の定員確保達成へとつながると考えている。さらに、学生募集力を浮揚させるには、引き続き、教育、学生生活支援等の対応強化を図ることと併せて、入試広報活動、入学者選抜の時期、方法等の工夫が重要である。

平成28年度における29年度入学者向けの学生募集計画においては、入学試験の実施に関連して、他の保育者養成校との入学者の早期確保、囲い込み競争が続く中で、入学定員を満たすことを目指し、出願期間も含めて、AO入試については8月1日以降、推薦入試は11月1日以降、一般入試は2月1日以降の条件を満たし、かつ、他の学事予定等との関連も考慮しつつ、これらの制約条件内のできる限り早い時期となるように計画を策定した結果、実施する入学試験の種別、名称、展開数、学生募集活動について一部改変補強を行うこととした。

学生募集・入学者選抜試験に関する計画の概要は次のとおりである。

- ①□本学のAO入試は、従来「保育科体験AO入試」という名称であったが、認知度、インターネット検索ヒット率の向上を図るため、一般的な「AO入試」を公式名称とする。

- ②□「AO入試」については、3つのタイプの選抜方法を選べるようにする。第1のタイプは『保育科体験型』。このタイプの試験方法については、保育の専門科目に関連するミニ授業を受講させ、理解力、国語力を測る「授業体験」（学力検査に相当）、保育学生としての表現行動の適性を測る「保育内容体験」（実技試験に相当）、保育学生としての人物適性を測るための「個人面接」により構成する。従来の『保育科体験AO入試』の選抜方法を基本的に継承するタイプといえる。なお、「授業体験」については、他の2つのタイプの選抜方法にも共通して設定する。第2のタイプ『自己アピール型』は、「授業体験」と保育に繋げることのできる技術・技能の質、保育者を目指す意欲等を確認する「自己アピール」及び「個人面接」で選抜を行い、第3のタイプ『面談重視型』では、人物適性と保育者を目指そうとする意欲について個人面接を通じて把握することを目的として、エントリー段階で「事前面談」（1回目の個人面接）と試験当日に「授業体験」、「個人面接」（2回目の個人面接）を行う。
- ③□「AO入試」の実施時期については、平成28年度入試は、Ⅰ期（8月）、Ⅱ期（9月）、Ⅲ期（10月下旬）であったが、平成29年度入試では、『保育科体験型』と『自己アピール型』・『面談重視型』に分けて、Ⅰ期（8月）とⅢ期（10月中旬）は『保育科体験型』、Ⅱ期（9月）と新たに追加設定したⅣ期（12月上旬）は『自己アピール型』と『面談重視型』を実施する。
- ④□『保育科体験型』の「保育内容体験」については、引き続き、なお一層保育現場でおこなわれる活動内容に近づける工夫と、評価視点のさらなる改良をすすめる。3タイプのAO入試に共通する「授業体験」（旧講義体験）も、引き続き、参加受験者がより興味関心を持ちやすく、理解しやすい内容となるように授業担当者も含めて工夫して実施する。『自己アピール型』の「自己アピール」については、「保育につながる技術・技能の質を測る」という点を考慮し、楽器演奏、特にピアノ演奏等については、技術的に一定の基準を設定することとする。
- ⑤□「AO入試」については、上に記述したことを柱として、志願者の保育科学生としての適性について多角的・総合的に把握・評価を行なう。さらにAO入試前に開催されるオープンキャンパスでは、「AO入試対策講座」の実施、オープンキャンパス会場でのエントリー受付を開始・実施することで、「AO入試」の参加受験者増を図る。
- ⑥□推薦入学試験については、「公募推薦入試」に関しては、学力の条件として導入する評定平均の基準は前年度準拠とする。「公募推薦入試」の展開、実施時期については、Ⅰ期及びⅡ期（11月）、Ⅲ期（1月）、Ⅳ期（2月）、Ⅴ期（3月）と28年度入試準拠とし、少しでも多くの入学者確保を図る。
- ⑦□「指定校推薦入試」の実施時期も、前年度と同じく11月初旬実施、B日程（特別日程）についても、公募推薦入学試験Ⅱ期と同様に11月下旬に実施する。「指定校推薦入試」（B日程も含む）の出願基準については、前年度準拠とする。ただし、高校別の全体の評定平均値については、入学者の学習成果等を勘案して調整をおこなう。
- ⑧□11月初旬実施の「指定校推薦入試」は、近年は、選抜試験の中で入学者確保の中核となっており、入試の性質から学力、適性も相対的に高い者が多い。入学試験の合格者の中から、「特に学力優秀で、保育科入学者としての適性評価となる面接評価が高かった2名」を対象に、入学金（35万円）を免除する「特待生制度」を継続実施する。
- ⑨□従来の2つの「特別選抜入学試験」については、名称を「大学・短期大学卒業予定者入試」と一般的に認知度の高い「社会人入試」に改める。展開は、「指定校推薦入試」「公募推薦入試Ⅰ期」が実施される11月初旬を除き、「公募推薦入試Ⅱ期」以降の展開に合わせて実施する。
- ⑩□平成28年度も、2回の入学前教育プログラムの実施を計画している。これは、入学予定者の本学入学前の準備教育としての効果に加え、学生募集にもプラス効果をもたらすものと位置づけている。平成28年度の入試広報においても、大学案内・ちらしの作成・配布、オープンキャンパスの実施、学外の会場説明会・高校での進学説明相談活動を通じ、AO入試をはじめとして、前年度からの入試の変更点や、入学前教育プログラムを明確に、わかりやすく、また興味を持てるように志願者に伝える工夫を行う。
- ⑪□また、高校生を中心とした保育者を志そうとする潜在的志願者に対して、保育の魅力、本学保育科の魅力を強くアピールするために、オープンキャンパスの活気をさらに高め、参加者がより親近感を感じられるように、学生の企画するプログラムの活用拡大も図り、内容的にさらに工夫を加えた学生参加型オープンキャンパスを展開する。また、中学生を対象にして、本学と保育者養成の大切さと楽しさ等を周知する機会を設定することで、中期的なスパンで、本学への入学志願者の裾野を広げる広報活動を企画する。
- ⑫□大学案内については、構成、内容について改変を加え、本学保育科の魅力度、本学学生たちのより生き生きした姿、キャンパスライフを伝えられるようにし、学生募集媒体としての訴求力を極力高める。

- ⑬□オープンキャンパスへの動員力を高めるために、高校の進路・キャリア支援部門の教員等への働きかけとなる高校訪問のさらなる充実を図り、個々の高校に対して進学先としての信頼度をさらに高め、緊密な関係の構築に向け、教職員が一致協力していくことで、志願者数増大、入学定員の充足を目指す。
- ⑭□学生募集活動に関しては、入学試験委員会と企画広報室の連携を中核として、教職員の協力を得て進めてきているが、学生募集活動の中核を担う教職員に加えて、職員による広報活動事業の推進強化も図る。

#### 《役員会について》

役員会については、

5月 事業報告、決算

3月 事業計画、予算

の従来2回を定例役員会に加えて、理事会については、少なくとも秋期に1回を定例として開催する。

また、必要に応じて臨時の理事会、役員会を開催する。

#### 《教授会及び総教授会について》

教授会及び総教授会については、原則として月に1回定例教授会、総教授会を開催し、また、必要に応じて臨時教授会ないし総教授会を開催する。

なお、平成28年度も、引き続き、教員間、教員と職員間との連携を強めていくため、総教授会を学内における意見交換の場としてより有効に機能できるように、専任教員全員で総教授会を構成し、かつ、出席する専任教員全員と部課長全員に発言の機会を認める。総教授会の議決権は、専任教員すべてに認める。さらに、専任教員全員で構成する「専任教員会議」を開催し、専任教員間での情報・意見交換、討議を行うことで、教員間の連携性をさらに高める。